

# 子どもを軸に市街地へ人を呼び込む仕掛け (ビジネス網)をつくる事業者等に対する 中間支援活動について



平成27年2月23日  
沖縄市地域づくり協議会

# 沖縄市とは

## 特徴

独自の発展を遂げた市  
(コザ文化/チャンプルー文化)

沖縄市は15歳未満の人口割合が  
全国一高い市

沖縄市中心市街地活性化基本計画で  
活性化に取り組んでいる

## 課題

・経済が衰退化し商業地域の  
空き店舗化

・近隣に大型商業施設の開業

## 沖縄市 宣言

音楽の街

エイサーの街

こどもの街

# 沖縄市地域づくり協議会とは

沖縄市地域づくり協議会とは

「一般社団法人ファイブアローズ」「沖縄市」

「(株)沖縄海邦銀行」の3団体が参画した協議会です。

## 目的

本協議会は、沖縄市の中でも、主として市の中心市街地であるコザ地域の活性化、商業振興、雇用創出、生活者支援に貢献し、地域振興に関わる団体及び事業者等からの相談と連携に関する総合窓口機能を提供することを目的としています。

## 今年度のテーマ

沖縄市は平成20年に「こどものまち宣言」を公表し、まちづくりにも反映してきました。

そこで「沖縄市地域づくり協議会」が、子どもを軸に事業を展開する複数の事業者に対して、外部専門家チームの協力を得ながら事業の立ち上げを支援し、同時にそれらをビジネス網として結びつけ、相乗効果が得られるようにするためのコーディネートを行います。

### 「子どもが主役になれる商品づくり」

子どもが描いたデザイングッズ開発

### 「子どもたちが未来について考えるキャリア教育」

新たに沖縄市でキャリア教育、職場体験プログラムなど

# 沖縄市地域づくり協議会

## 事業内容

### 商業振興

商品、サービスの企画・事業  
立ちあげ支援

### 雇用創出

支援団体、事業者人材育成  
団体等のマッチング

### 地域活性化支援

ソーシャルビジネス、コミュニ  
ティビジネス等の創出

## 総合窓口

基礎的経営相談、指導、支援  
課題/問題点の把握  
解決のための場の創出

## 「こどもが主役に」

「子どもが主役になれる商品作り」

「子どもたちが未来について考える  
キャリア教育」

# 地域資源（子ども）を軸とした 新しいビジネス網

1

- 「子ども」共通のキーワード持つ団体の力不足（財務、運営、継続）

2

- 子どもを軸に市街地へ人を呼び込む仕掛けを構築（ソーシャルビジネス、コミュニティービジネス）

3

- それぞれの団体が自立や活性化を目的に力をつけネットワーク強化され財源確保、事業持続と以降の発展性を確保する。

**子どもが沖縄市を元気にする起爆剤**

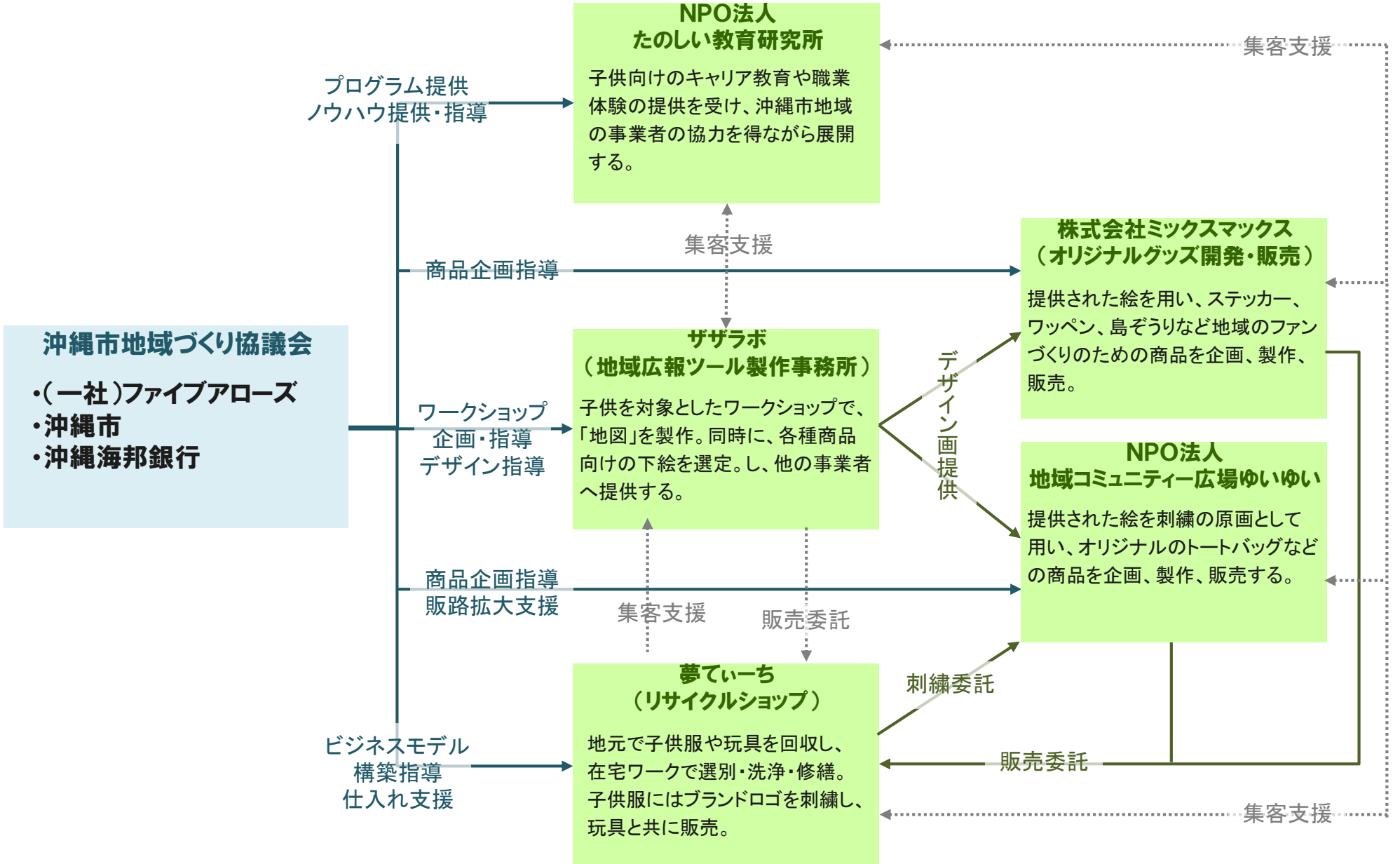
## 2. 地域づくり活動支援体制の構成

| 連携主体               | 役割   |
|--------------------|--|
| 一般社団法人<br>ファイブアローズ | 事務局を務め、事業全体の企画・計画、各種専門家を通じた支援、各種調整・進捗管理・経理・成果とりまとめの機能を担う。<br>団体ヒアリング、環境調査、ビジネスマッチング企画<br>・事業の企画、計画、調整<br>・専門家との連携<br>(各事業別にチーム結成)<br>・マーケティング調査<br>・販売ルートの確保<br>・在宅ワーク支援 |
| 沖縄市                | 中心市街地活性化推進課が中心となり、本事業に関連する情報の提供、関連する地域や事業との調整、作業や打合せの場の提供。<br>・情報提供(中心市街地店舗リスト、市助成金の紹介)<br>・場所の提供(セミナー、産業まつり特別ブース設置)<br>・他団体との調整(教育委員会、商店街)<br>・市関連の広報誌掲載調整              |
| 沖縄海邦銀行             | 本部では企業支援部が担当窓口となる。対象地域にあるコザ支店長が節目となる会合に出席。金融からの視点から助言を提供し、融資の検討案件があった場合は相談を受け付ける。<br>・支援先1団体ずつヒアリングを実施<br>・融資、事業計画ヒアリング<br>・取引先に案内、告知<br>・コザ支店でのグッズ展示<br>・海邦倶楽部の入会促進     |

### 3. 担い手の概要

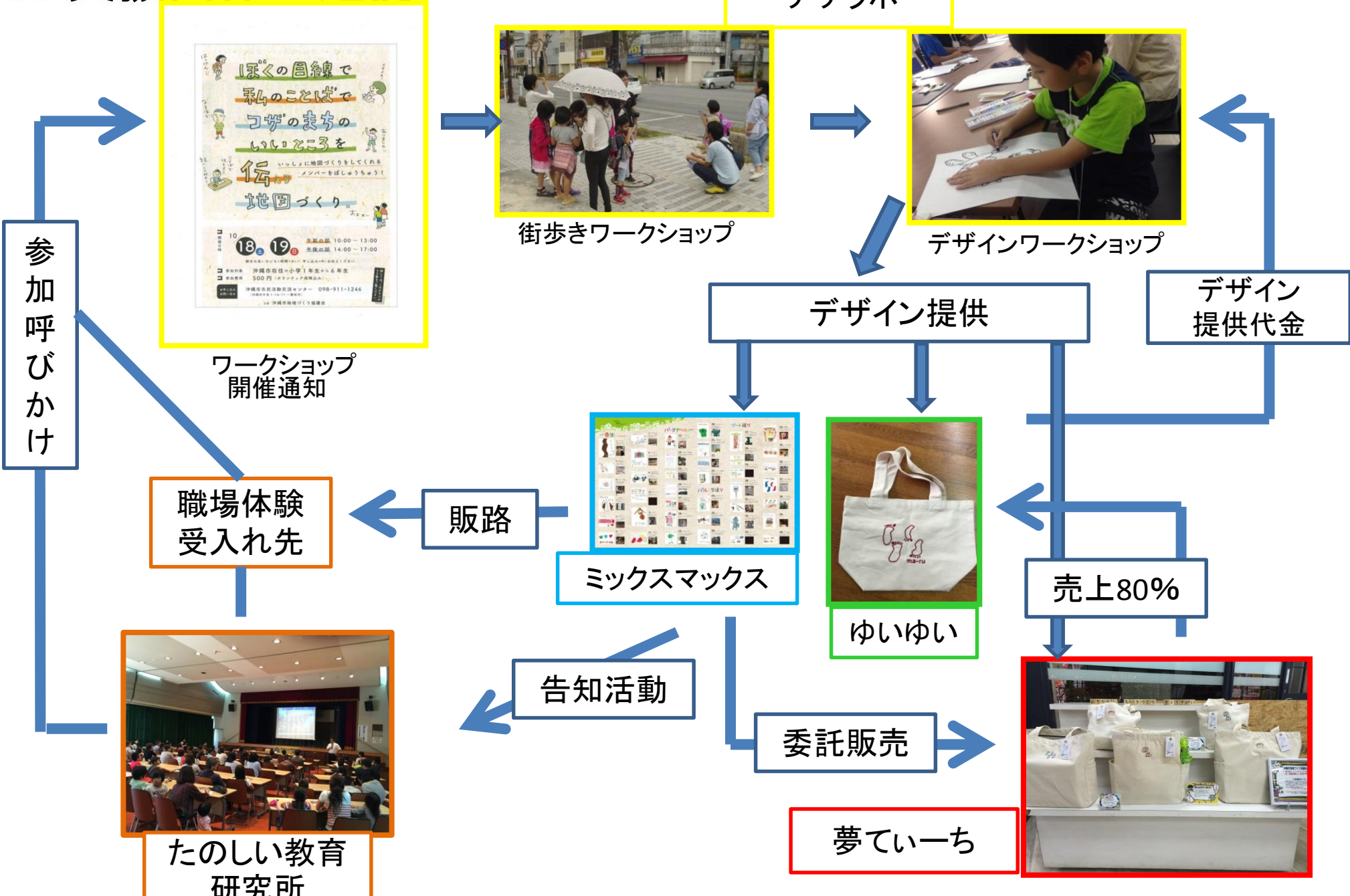
| 団体名          | 活動内容                          | 課題  |
|--------------|-------------------------------|---|
| ザザラボ         | 文化的地域フリー情報誌の発行                | 自分たち(若手デザイナー)のスキルをあげるためのフリー情報誌であったため、経営、運営、商品開発経験なし |
| (株)ミックスマックス  | 地域性を活かしたオリジナルグッズの開発・販売        | マニアックかつ高額商品が多数だったため、収入が少ない                          |
| コミュニティ広場ゆいゆい | 障がい者のサポートセンターを運営しているNPO法人     | 利用者の就労支援。<br>刺繍をしていたが、委託のため安定収入、安定した仕事ではなかった。       |
| 夢ていーち        | 母子家庭の支援先としてリサイクル・リメイクSHOPを開業。 | SHOP経験が少なく、経営難。                                     |
| たのしい教育研究所    | 元教師で子どもの理科離れを懸念してNPO法人設立      | サイエンスセミナーなど経験は豊富だがキャリア教育、職場体験などの経験なし                |

# 4. 事業概要

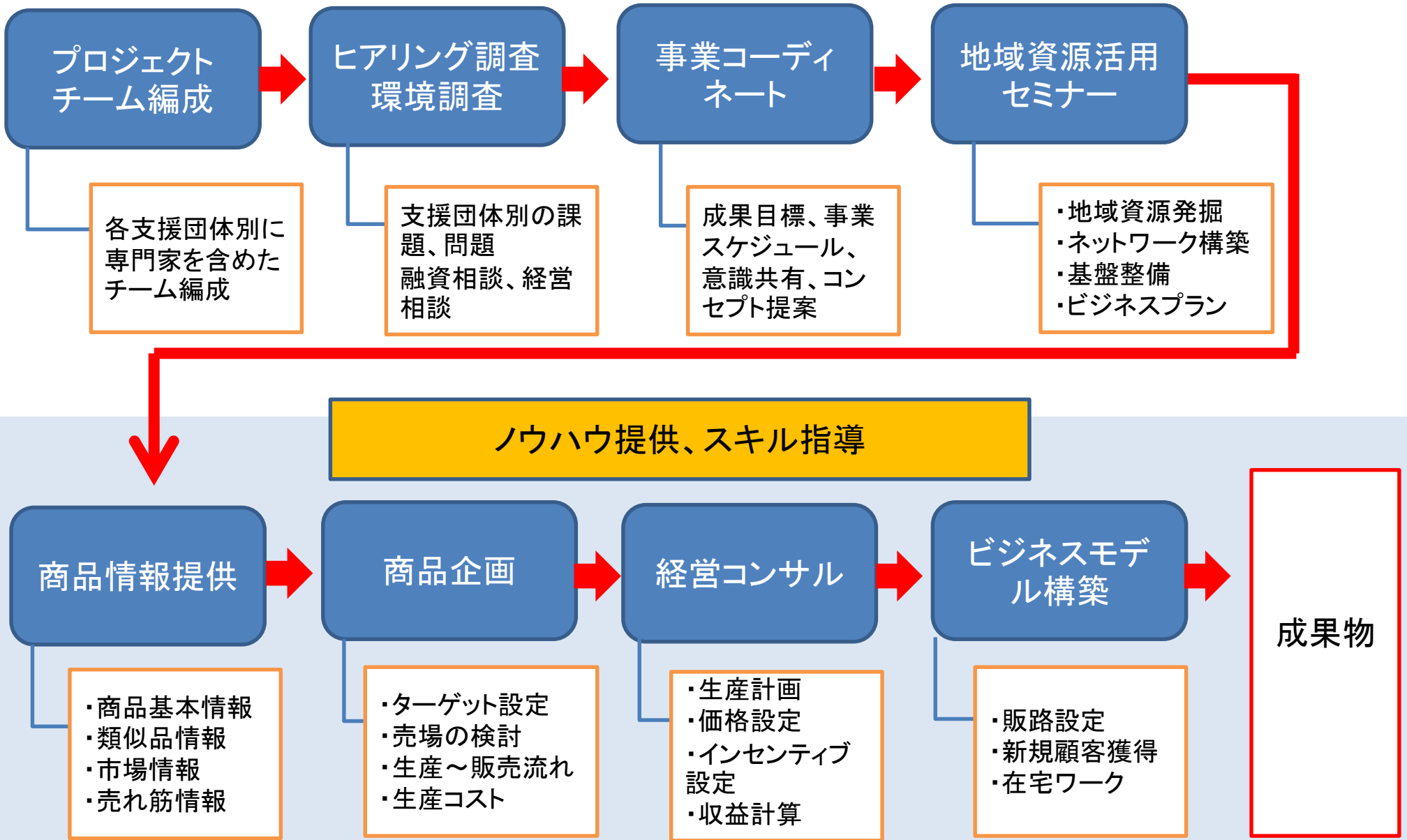








# 5. 支援団体の連携



# 6. 各取組の内容



# 7.主な中間支援内容(ザザラボ)

|                         | テーマ  | 指導様子/講座開催様子  |
|-------------------------|--|--|
| <p>街歩きワークショップノウハウ提供</p> | <p>街歩きワークショップ開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• なぜ?街歩きをするのか</li> <li>• ワークスケジュール役割分担</li> <li>• 安全確認</li> <li>• 進行方法</li> <li>• デザイン指導方法</li> <li>• 街歩き募集方法</li> <li>• 募集チラシ作成方法</li> <li>• 街歩き手引書書作成 (ヒントガイド、発見ノート)</li> </ul> |     |
| <p>デザイン地図商品企画指導</p>     | <p>こどもデザインを使用した商品開発とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ターゲット設定</li> <li>• デザイン選定指導</li> <li>• 地図デザイン構成指導</li> <li>• 付加価値</li> <li>• 価格設定</li> <li>• 入稿業者の選び方</li> </ul>  |   |

# 各取組の成果と課題

## ①取組1: ザザラボ(コザ子どもMAPの作成)

|      |   |
|------|---|
| 活動内容 | 地域情報誌「ザザ」を企画、編集、発行し、地域の事業者や関係団体と連携しながら地域振興に関わってきた |
| 支援成果 | 参加人数25人   |
|      | 地図販売数42点<br>委託店舗 5店舗×20点=100点                     |
|      | デザイン提供7点<br>1デザイン5,000円                           |
| 成果物  | A2サイズ両面<br>こども絵図鑑 1冊150円(税抜)                      |



地図完成品

- ①プロジェクトチームの編成
- ②ヒアリング調査、環境調査
- ③地域資源活用セミナーの開催
- ④街歩きワークショップノウハウ提供
- ⑤ファシリテーションスキル指導
- ⑥デザイン地図商品企画指導
- ⑦ビジネスマッチング指導
- ⑧ビジネスモデル構築支援
- ⑨広報支援・活動場の提供
- ⑩新規販売ルートの確保

### 支援ポイント

|   |                           |
|---|---------------------------|
| フ | 統一性のないデザインを1つの商品にするデザイン構成 |
| 沖 | 募集告知/販売ルート確保など街全体での協力体制   |
| 海 | ビジネスモデル構築の助言(事例紹介)        |



店頭販売様子

# 主な中間支援内容(ミックスマックス)

|                          | テーマ   | 指導様子  |
|--------------------------|---|---|
| <p><b>地域資源活用セミナー</b></p> | <p>9月20日(土)<br/>           午前の部 10:00~13:00<br/>           午後の部 14:00~17:00<br/>           参加者 12名</p> <p>コザ地域にある問題や課題、人材を含めた資源を知り、コザ地域発展のために目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興のポイント</li> <li>・コザの現状</li> <li>・アクションの検討</li> <li>・活用方法</li> </ul> |   |
| <p><b>商品企画指導</b></p>     | <p>新地域活性化商品開発について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化商品の特徴</li> <li>・地域活性化商品の全国的傾向</li> <li>・県内の地域活性化商品の現状</li> <li>・商品企画のポイント (A I D M A手法)</li> <li>・地域活性化商品の位置づけ</li> <li>・活動の広げかた</li> <li>・こどもデザインを利用した商品案</li> </ul>                            |  |

# 各取組の成果と課題

| 取組2:ミックスマックス(オリジナルグッズ開発・販売) |                                      |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 活動内容                        | 地域性やコザ地域独特の文化を反映したオリジナルグッズの開発や販売を展開。 |
| 支援成果                        | 布プリント缶バッジ 1個                         |
|                             | 布缶バッジ販売数 30個                         |
|                             | 売上 9,000円                            |
| 成果物                         | 布プリント缶バッジ<br>1個 300円                 |



缶バッジ完成品

- ①プロジェクトチームの編成
- ②ヒアリング調査、環境調査
- ③地域資源活用セミナーの開催
- ④地域活性化商品情報提供、指導
- ⑤地域活性化商品企画指導
- ⑥ビジネスマッチング指導
- ⑦ビジネスモデル構築支援
- ⑧広報支援・活動場の提供
- ⑨新規販売ルートの確保
- ⑩経営相談

## 支援ポイント

- フ マニアックな商品から手軽な親しみやすい商品開発指導
- 沖 セミナー開催場所の提供  
参加促進
- 海 経営ヒアリング調査  
融資相談、講座案内



店頭販売様子

# 主な中間支援内容(コミュニティ広場ゆいゆい)

|                                  | テーマ   | 指導様子   |  |
|----------------------------------|---|--|--|
| <p>商品企画<br/>ビジネスモデル構築<br/>指導</p> | <p>9月～</p> <p>商品開発の考え方と方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何のために</li> <li>・商品開発の視点</li> <li>・ターゲット</li> <li>・売場の検討</li> <li>・刺繍を活かした実用性のある商品とは</li> <li>・材料の選定(生地)</li> <li>・生産～販売の流れ</li> <li>・価格設定</li> </ul> |    |   |
| <p>在宅ワーク連携</p>                   | <p>10月～</p> <p>パートナーとの連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業工程確認</li> <li>・作業割当てによる効率化</li> <li>・在宅ワーカーの現状説明</li> <li>・1作業の受託価格設定</li> <li>・試作品開発</li> <li>・支払い方法</li> </ul>                                 |  |  |

# 各取組の成果と課題

## 取組3: コミュニティ広場ゆいゆい(刺繍商品開発・販売)

|      |   |
|------|---|
| 活動内容 | ノーマライゼーション社会の実現を目指しながら、障がい児や家族のサービス等を提供し、地域福祉の向上に取り組むNPO法人。 |
| 支援成果 | 刺繍商品70点<br>現在、追加製作中 160点                                    |
|      | 刺繍請負30点   |
|      | 売上 22,400円  |
| 成果物  | 刺繍トートバッグ<br>(大)(小)×3デザイン×3カラー                               |

- ①プロジェクトチームの編成
- ②ヒアリング調査、環境調査
- ③地域資源活用セミナーの開催
- ④刺繍商品情報提供、指導
- ⑤刺繍商品企画指導
- ⑥ビジネスマッチング指導
- ⑦ビジネスモデル構築支援
- ⑧広報支援・活動場の提供
- ⑨新規販売ルートの確保

### 支援ポイント

|   |                        |
|---|------------------------|
| フ | 在宅ワーカーとの連携<br>生産性の向上   |
| 沖 | 販売ルート確保など<br>街全体での協力体制 |
| 海 | 経営ヒアリング調査<br>融資相談、店頭展示 |



完成品



店頭販売様子



# 主な中間支援内容(夢ていーち)

|                                | テーマ   | 指導様子  |  |
|--------------------------------|---|---|--|
| <p>リサイクル<br/>ビジネス<br/>の指導</p>  | <p>10月6日～8日<br/>東京の古物商派遣</p> <p>リサイクルビジネスのノウハウ提供<br/>指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サンプル品仕入れによる指導</li> <li>・ 仕入れルート</li> <li>・ 目利き</li> <li>・ 品揃えと在庫管理</li> <li>・ 店舗レイアウト指導</li> <li>・ 仕入額と販売額の関係</li> </ul> |   |   |
| <p>リサイクル<br/>ショップ経営<br/>指導</p> | <p>東京の古物商派遣後の指導</p> <p>夢ていーち経営改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状および経営全般について</li> <li>・ 客数の増加策</li> <li>・ 売上の増加策</li> <li>・ 利益の増加策</li> <li>・ 経営維持するための目標</li> </ul>                                       |  |  |

# 各取組の成果と課題

## 取組4: 夢ていーち(シングルマザー支援リサイクルショップ)

|      |  |
|------|--|
| 活動内容 | オーナーはこれまでシングルマザーの支援に取り組んできた。具体的な形で進めるためにリサイクルショップの開業   |
| 支援成果 | 刺繍入り中古子供服30点   |
|      | 中古玩具20点  |
|      | 売上70,000円  |
| 成果物  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども刺繍服商品の開発・販売</li> <li>・リサイクルショップの経営基盤強化</li> </ul> |

- ①プロジェクトチームの編成
- ②ヒアリング調査、環境調査
- ③地域資源活用セミナーの開催
- ④リサイクルビジネス指導
- ⑤リサイクル経営指導
- ⑥ビジネスマッチング指導
- ⑦ビジネスモデル構築支援
- ⑧こども刺繍服開発・販売指導

### 支援ポイント

|   |                          |
|---|--------------------------|
| フ | 定期的な仕入確保<br>ビジネスマッチング支援  |
| 沖 | 助成金情報相談<br>市街地活性化/商業振興   |
| 海 | 海邦ビジネス倶楽部促進<br>融資相談、経営相談 |



店舗外観



こども刺繍販売様子

# 主な中間支援内容(たのしい教育研究所)

|                         | <p style="text-align: center;">テーマ</p>   | <p style="text-align: center;">指導様子</p>  |
|-------------------------|--|--|
| <p>キャリア教育に関するノウハウ提供</p> | <p>キャリア教育セミナー/職場体験セミナーの開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄市のキャリア教育現状</li> <li>・教育委員会、学校の連携方法</li> <li>・セミナー内容ノウハウ提供</li> <li>・体験型、講座型セミナーについて</li> <li>・体験受入れ先選定方法</li> <li>・職場体験ノウハウ提供</li> </ul> |   |
| <p>キャリア教育事業計画作成</p>     | <p>キャリア教育セミナーの企画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリング</li> <li>・自前資金の確保 (目標設定)</li> <li>・教育サービスの企画と展開</li> <li>・オリジナル教材の商品規格と販売</li> </ul>  |    |

# 各取組の成果と課題

## 取組5: たのしい教育研究所(キャリア教育・職場体験)

|      |  |
|------|--|
| 活動内容 | 沖縄市拠点をおき、主にサイエンス実験や体験を主とした講座や出前授業を展開している |
| 支援成果 | 子どもキャリアセミナー第1回<br>100人参加<br>第2回 2/28     |
|      | 職場体験 2/14、2/15予定<br>午前、午後 4回 25名参加       |
|      | セミナー参加料 62,500円<br>教材販売 55,000円          |
| 成果物  | ・セミナー開催手引書<br>・教材開発5点                    |



キャリア教育セミナー様子

- ①プロジェクトチームの編成
- ②ヒアリング調査、環境調査
- ③地域資源活用セミナーの開催
- ④キャリア教育セミナー指導
- ⑤職場体験セミナー指導
- ⑥キャリア教育事業計画指導
- ⑥ビジネスマッチング指導
- ⑦ビジネスモデル構築支援
- ⑧広報支援・活動場の提供

### 支援ポイント

|   |                            |
|---|----------------------------|
| フ | 職場体験受入れ先の確保<br>セミナー開催支援    |
| 沖 | 教育委員会等の連携支援<br>セミナー広報支援    |
| 海 | 海邦ビジネス倶楽部促進<br>融資相談、教材作成支援 |



職場体験様子

## 7. 中間支援における課題と対応

### ●支援対象の自立を促進させる点で

- ・一団体の支援と捉えず、事業全体がチームとなり取り組むことでこどもデザインが世に広がっていく仕組みを各団体に意識させることが重要だった。
- ・5団体の支援連携事業でそれぞれが特色の違う活動、団体に対し専門家を含めた支援方法、展開方法を実行していくには、時間を要した。

### ●加えて、中間支援をする立場で

- ・自治会、NPO、行政などの連携窓口の設置が明確になることで、事業の課題など相談がしやすく、すぐに対処することができた。
- ・単体での広報活動や販路開拓では限りがあるが、一体となることで新規顧客や販路が生まれた。
- ・役割分担が明確にすることで、各々にできるコーディネート機能を最大限に発揮できた(協議会内でのネットワークの幅が広がる)
- ・1つの事業所だけで「お金」や「情報」が動くのではなく、支援団体先が中心となった大きな円で「お金」「情報」がまわる仕組みを作った

## 8. 事業終了後の予定

### ザザラボ

他の地域でも同様のWSを行い、デザインや商品を増やす

### ミックスマックス



### ゆいゆい



### 夢ていーち

東京の古物商から継続仕入をファイブアローズを通して行い、在宅ワークと共同商品をつくる

### たのしい教育研究所

ノウハウ提供を受けたプログラムを定期的 to開催し、連携体制、協力体制を築いていく

## 8. 事業終了後の予定

・来年度からは以下の協力金を徴収することで、協議会の運営資金とする。

①支援団体1団体1万～3万(今年度の支援に対し)

②3ヶ月に1度、報告会を兼ねた勉強会の実施(参加費有)

③商店街を中心に経営セミナー、マネジメントセミナーの実施(受講料有)

これらの収入を得ることで、継続支援や新規支援を行い、地域活性化事業としていく。

・来年度以降も継続支援のほか、最低1団体支援を目標に継続していく。

### 平成27年度以降

・第1期に立ち上げた事業を拡大させ、収益性を向上させる。

・他団体、他協議会と連携していくことで、窓口機能を広げ、構成団体を増やし、行政・関係機関・地域団体・事業所をつなぐ、総合窓口を強化する